

## 議会モニターとの意見交換会での意見に対する議会の対応

令和8年3月23日開催

### 議会の取組について

	モニターの意見要旨	議会の対応	備考
1	学校でも、地域の問題や地域に対する学生の興味・関心について発表会などを行っている。範囲を広げれば学生の考え方や意見がたくさん出てくる。高校生との意見交換会のテーマは高校生の意見を聞いて設定されたい。	高校生との意見交換会は4回目を迎え学生からも好評を得ている。テーマの設定は事前に各高校と協議して決めており、令和7年度はワークショップ形式で行った。世代にあった意見交換会の形が大切であり、学生が意見を出しやすい雰囲気やテーマの設定に努めていく。	
2	子育て世代とのオンライン懇談会の意見を議員が直近の一般質問で取り上げており、緊急性と重要性を考慮しての対応であったと感じた。課題解決を目的に参加された方には目に見える形で議員が応えたことで、意見の反映を実感されたと思う。参加意欲の向上や議会が行う意見交換会の意義も感じられたことと思う。	議会改革推進特別委員会で協議し、参加者やテーマを絞った議会報告会として試行的に実施した。オンラインでの実施を含めて手ごたえを感じている一方、これまでの議会の活動が市民に伝わっていないことも実感した。議会から積極的に発信することで市民と議会が近づくと感じる。第一回の開催を踏まえて発展的に制度化するとともに、市民と議会の約束を明文化する意味で、議会基本条例に盛り込むことも検討していく。	
3	議会報告会について、夜間の開催では女性の参加が少なく男女比や年齢層が偏ってしまうと同じ意見ばかりになってしまう。オンライン懇談会の取組も話題になったが、多様な世代や性別から意見を聞くことが重要だと感じるがどうか。	議会も課題認識を持っており、週末や日中の開催、集落単位での開催も行ってきたが全員が参加しやすい議会報告会の実施は困難であった。現在は各地域自治組織と相談して開催日時を決定しており、可能な範囲で時間や会場などを調整している。参加者の属性やテーマを絞った「議会報告会プラス」の制度化を進めており、多様な意見聴取の機会の確保に努めていく。	
4	本会議の記録はケーブルテレビやインターネット配信もされているが、公式記録は永久保存される議事録である。議会モニターの案内文書にはそのような記載が必要ではないか。	ご意見を踏まえ、今後の案内文書には議事録の記載を追記する。	

## 一般質問について

	モニターの見解要旨	議会の対応	備考
5	一般質問通告書の中で、専門用語や新しくできた施設の名前、実施した事業名など市民が知らないこともある。注釈を付けるなど工夫が必要ではないか。	通告書は、質問の趣旨や議員の主張を理事者に適確に伝え、噛み合った議論がなされるよう明瞭簡潔な記載に努めている。一方、広報紙においては注釈やワンポイントの説明記事を載せるなど工夫している。紙面の制限もあるが、わかりやすい広報紙の作成に努めていく。	
6	横文字で意味のわからない言葉を議員も理事者も使うことがある。良い議論が成されていても、市民が放送を見て聞いても意味がわからなかったら伝わらないと感じるがどうか。	時代背景の中で横文字が増えていることは実感している。議員、理事者共に横文字を使う場合には、日本語の言い換えを口述するように努めているが、表現しきれない場合もあり苦慮している。放送を視聴している市民に伝わりやすいよう努めていく。	
7	一般質問では持ち時間を最大限活用してほしい。取上げるべき市の課題は多くあり、議員によっては時間が足りないほど質問されていて熱意を感じる。また、再質問で議論を深めてほしい。理事者の答弁に対してさらに深く切り込むやり取りが、市民の一般質問に期待するところであると感じるがどうか。	残り時間の長短に限らず、深い議論や充実した一般質問になるよう努めており、結果的に時間が足りなくなる場合もある。一般質問が議員活動の全てではないが、公開の議論としての重要性も認識している。聞くだけの質問は事前調査で確認したうえで一般質問に臨み、より深い議論となるよう努めていく。	
8	今回の一般質問では共通の課題を複数の議員が取り上げ、リレー形式のように進行していたのは画期的であると感じた。その意図や成果についてお聞きしたい。	事前通告制度を導入して、本通告前に一般質問で取上げる課題を議員間で共有している。質問の重複を避けるための導入であったが、事前に議員間で調整することで一般質問全体を通しての深化にもつながっている。そのような意図を議員間で共有し、一般質問における議論の充実に努めていく。	

## 議会広報について

	モニターの見解要旨	議会の対応	備考
9	議会だよりの写真には、撮影場所などわかりやすい注釈をつけて欲しい。整理・保管のための穴あけは不要。パンチ穴や中心点の明示で代用し、保管は図書館など公的機関で行うことで良いのでは。八鹿病院組合や南但広域行政事務組合の記事を充実させて、審議の内容を伝えて欲しいがどうか。	撮影地を明らかにすることが不適切な場合を除き、詳細な説明を記載したいが紙面の制限もある。組合議会の報告においても同様の理由から現在は市議会の内容の記載に重きを置いている。制限はあるが可能な範囲で議会広報の充実に努めていく。穴あけについてはご意見を踏まえて検討する。	
10	議会放送やオンライン懇談会・議会報告会など議会の告知をケーブルテレビで行っているが、どのくらいの人が見ているのか。若い世代が見ているか疑問に感じる。SNSなど情報発信の工夫が必要ではないか。	ケーブルテレビのみに依存しない情報発信の工夫は必要であると認識しており、議員個人では広報紙による発信や、SNSによる告知等も行っている。今後は議会として公式に行うことも必要に応じて検討していく。	
11	議会のケーブルテレビやインターネットの放送も、市民の関心がなければ見られないし傍聴に来ようと思われない。発言した意見が本会議で取り上げられるなど議会とのつながりが実感できれば関心が高まると思うし、意見を言おうと思う人が増えると感じる。意見交換の機会や告知を大切にしてほしい。議会だよりも興味を持たれて傍聴にも出向いてみようと思えるような広報紙が良いと思うがどうか。	議会報告会など市民との意見交換の機会を充実させていくと共に、その成果を市民に見える形で示していく事が重要であると認識している。議会だよりも含めて、市民の興味や関心を得られるよう、従来の形にとらわれず積極的に努めていく。	

## その他のご意見

	モニターの意見要旨	議会の対応	備考
12	南但青年会議所では、昨年、市及び但馬農業高校と連携してこども食堂のイベントを開催し盛況であった。本年度はベビーファースト宣言（こども第一）をテーマに活動するが、市議会とも連携して何か一緒に取り組めないか。	南但青年会議所が行う選挙時の公開討論会やイベントは地域に浸透している。行政だけではできない活動を、経営者（企業）の地域貢献として行っていただいていることに感謝している。そのような活動を市議員からも広く伝えていきたい。	
13	自身も養父市が好きで住民会議等にも積極的に参加しており、住みたい田舎ランキングの1位も納得する所だが、このランキングはどのように評価されているのか。	自治体が行っている子育て支援や住宅支援等の各政策実施の有無を調査されており、実施政策が多いほどランキングが上がる仕組みとなっている。ランキング公表によるPR効果や住民福祉充実の評価指標の1つでもあるが、議会としてはその政策の効果や成果に主眼をおいて検証していく必要がある。	
14	無痛分娩に対する補助も実施予定と聞くが、そもそも分娩できる機関が無い地域では定住意欲につながらないのではないか。八鹿病院で出産できないことについて議会はどう考えているか。	分娩機関は、産科医、助産師、看護師、小児科医など多くの人的、設備的対応が求められるが、産科医不足と人口減少に伴う分娩数の減少により機能の集約が必要な時代になっている。分娩機関に限らず地域医療の確保や医師偏在の是正に議会として取り組んでいる。	
15	部活動の地域展開について、当事者や保護者に市からの提示が無く不安の声を聴く。人数不足で大会に出られない、現在の部活動が地域移行後に続けられるかなど質問を受けるが、市の進め方や部活動の存続について議会はどう考えているか。	常任委員会でも調査しており、児童生徒の体験機会の確保や、保護者送迎の負担などの課題があることを認識している。各議員も課題意識を持っており、議会としても調査や提案などに取り組んでいく。	

	モニターの見解要旨	議会の対応	備考
16	<p>学校の課題も議会で取り上げられているが、学校や保護者と議員の距離が遠いと感じている。学校や地域によって悩みごとは様々であり、今後は統合などの問題も出てくる。学校開放の機会等を通じて学校に出向き、こどもの顔を見たり保護者との距離を縮めて欲しいと思うがどうか。</p>	<p>議会として、教育やこども・子育て政策について常任委員会で調査を行っており、個々の議員活動の中でも行っているが、コロナ禍を経てその機会が減少していることもある。ご意見を踏まえ、議会や議員活動の中でそのような機会の確保に努めていく。</p>	
17	<p>市や病院が行っている支援制度や仕組みについて、議員や市の職員も把握されていると思うが、今の時代にあっているか、支援につながっているかといった視点で見て、一般質問を作り議会で取り上げて欲しい。</p>	<p>国が定める介護・障がい等級の認定制度や構成市内外病院の運用上の仕組みを、議員が全て把握することは困難であるが、個々の事例に対して調査・研究し市の裁量で行うことについては提案することもできる。</p>	
18	<p>関宮小さな拠点について一般質問があったが、市の答弁が簡単すぎてわからなかった。令和9年から運営開始することや、国の指針に沿った事業であること、また現在の社会福祉協議会、地域自治組織、公民館などが今後はどうなるのかなど、市民が知っているか疑問に思うがどうか。</p>	<p>市民周知や今後について不透明な部分がある課題は議会としても認識している。一方、市民会議など住民の主体的な動きもあり、市の大規模事業でもあることから、議会は特別委員会を設置して引き続き調査を継続していく。</p>	